

図書館だより



脇高図書館
2017.5月号

今月の作家【三浦綾子】キミは『塩狩峠』を知ってるか？

作家の画像はありません

1922年4月25日(大正11年)に北海道旭川市に生まれる。旭川市で7年間小学校教員を勤めたが、終戦によりそれまでの国家のあり方や、自らも関わった軍国主義教育に疑問を抱き、退職。この頃肺結核を発病する。1959年に三浦光世と結婚。光世は後に、綾子の創作の口述筆記に専念する。代表作『氷点』は、1963年、朝日新聞社の1000万円(当時の1000万円は莫大な金額であった)懸賞小説公募に入選し、大ベストセラーとなった。ちなみに、日本テレビ系番組『笑点』は、このころベストセラーであった『氷点』から題名を取ったと言われる。結核、脊椎カリエス、直腸癌、パーキンソン病など度重なる病魔に苦しみながら、1999年に77歳で亡くなるまで、『塩狩峠』『道ありき』などクリスチャンとしての信仰に根ざした著作を次々と発表。

全国に多数ある文学館や記念館の中でも、「三浦綾子記念文学館」は「民立民営」の施設だが、内容の充実ぶりに圧倒される。三浦ファンによって維持されているが、経営は苦しいようだ・・・

【読書感想文で長年にわたり読まれている名作】

塩狩峠

他人の犠牲になんてなりたくない、誰だってそうさ—
—そうだろうか、本当に？

結納のため、札幌に向った鉄道職員永野信夫の乗った列車は、塩狩峠の頂上にさしかかった時、突然客車が離れて暴走し始めた。声もなく恐怖に怯える乗客。信夫は飛びつくようにハンドブレーキに手をかけた…
…明治末年、北海道旭川の塩狩峠で、自らを犠牲にして大勢の乗客の命を救った一青年の、愛と信仰に貫かれた生涯を描き、生きることを問う長編小説。



△ 三浦綾子記念文学館(旭川市)
(矢島撮影)

三浦綾子記念館は、全国各地に設立されている記念館の中でも、規模、展示内容の充実度は群を抜いており、文学的資料の価値が非常に高い。(矢島私見)しかしながら、記念館の利用者は年々減少しているらしく、維持が難しいようだ。北海道にあることと、旭川駅からもやや遠いので仕方ないのかな…残念！記念館裏には「氷点」に出てくる森がある。

図書館へ行こう！

読書推進週間

5月22日～31日



脇町高校図書委員会では、5月22日～31日を平成29年度の第1回読書推進週間として設定し、皆さんの読書を推進・サポートします。先生方や図書委員の推薦図書を、1、2年生の図書委員手作りのポップとともに展示しています。

米倉康博校長先生のすすめる本：『御伽草子』（太宰治）

高校時代に読んだ本の中から、印象に残っている本を選んでみました。「カチカチ山」などの昔話を太宰が自由に解釈して語っていて、とても面白かったです。

《 今月のおもな新刊 》

徳島出身作家のマンガ大賞 2017 受賞作！

- *響 小説家になる方法 (柳本光晴)
- 「キノベス！ 2017」第一位！！
- *翻訳できない世界のことば (エラ・フランシス・サンダース)
- 「紀伊國屋じんぶん大賞 2017」受賞作
- *戦争まで (加藤陽子)
- 「君の隣〜」作者の最新作
- *かくしごと (住野よる)
- 放送中ドラマの原作
- *貴族探偵 (麻耶雄嵩)
- *貴族探偵 VS 女探偵 (麻耶雄嵩)
- 去年話題になった「あの人」の最新エッセイ
- *いのちの車窓から (星野源)
- オリラジ「あっちゃん」の人生相談
- *大合格 (中田敦彦)
- 「進化」を擬人化？不思議な生き物写真集
- *進化くん (マラ・グランバム)
- 本屋大賞 2017「発掘部門」第1位
- *錯覚の科学 (クリストファー・チャブリス)
- *なるほどデザイン (筒井美希)

なぜ日本のフランスパンは世界一になったのか (阿古真理)

岩波新書

- *ミクロ経済学入門の入門 (坂井豊貴)
- *作家的覚書 (高村薫)
- *異才、発見！ (伊藤史織)
- *正岡子規 人生のことば (復本一郎)
- *日中漂流 (毛里和子)
- *日本の近代とは何であったか (三谷太一郎)
- *モラルの期限 (亀田達也)
- *シリア情勢 (青山弘之)
- *『レミゼラブル』の世界 (西永良成)
- *グローバル・ジャーナリズム (沢康臣)
- *中国のフロンティア (川島真)

岩波ジュニア新書

- *聖徳太子 本当の姿を求めて (東野治之)
- *灯台留学生ディオオンが見たニッポン (ディオオン・ン・ジェ・ティン)
- *日本一小さな農業高校の学校づくり (品田茂)
- *財政から読み解く日本社会 (井手英策)
- *正しいコピペのすすめ (宮武久佳)
- *王様でたどるイギリス史 (池上俊一)